

私のすすめるこの1冊

杉井 潤子(家政科 教授)

『大事なものは見えにくい』

鷺田 清一 (著)

「大事なものは… まだ誰も見ていないものを見ることではなく、誰もが見ていることについて、誰も考えたことのないことを考えることだ」"The task is...not so much to see what no one has yet seen; but to think what nobody has yet thought, about that which everybody sees." という言葉がある。1933年にノーベル物理学賞を受賞したオーストリアの理論物理学者エルヴィーン・シュレーディンガー (Erwin Rudolf Josef Alexander Schrödinger) が残したものである。家族社会学・家族関係学を専門とするわたしにとって、理論物理学のことはまったくわからないが、彼が言わんとしたことはいわば哲学的なものの見方であり、すべての事象に通じると考えている。何気ない日常においても、見えてはいるが、気づいていないことをなんとか発見したいと、ふだんから願っている。

そのようななかで、わたしが研究を続けるうえでも、学生と接するうえでも、またプライベートな生活のうえでも、なんども壁にぶち当たり、考えあぐねたときに、少しでも答えを得ようとして何気なく手にとる本がある。たまたま開いたページの一部分でも読んで、考え直すことが多い。それが著名な哲学者鷺田清一の『大事なものは見えにくい』である。もともとは、2009年刊行の単行本『噛みきれない想い』を文庫化したもの

であるが、裏表紙の解説には「確かなことは何もわからない、価値の遠近法が崩れた現代社会のなかで、日常の隙間に生じる違和感を育て、答えの見えない「問い」と向き合いつづける」と書かれている。

少し内容を紹介すると、「何もしてくれなくてもいい、ただいてくれるだけでいい、とだれかに言いたいときがある。……ところが、何をやるわけではないが、じっとそばにいるということがもつ力を評価することを、わたしたちの社会は忘れていている。……評価されるのはアクティブなこと、つまり何をしたかという行動実績ばかり。パッシヴなこと、つまりあえて何もしないでひたすら待つという受動的ふるまいに着目されることは、およそない。なかでも、教育やケア(子育てや介助・介護)は、その相手である一人ひとりの思いに濃やかに耳を傾けることから始まり、また相手がいつの日かみずからの足で立つ、みずからを立てなおすのをじっと待つ、ということがとくに大きな意味をもついとなみである。が、それを「評価」にあたって、どれだけ耳を傾けたか、どれだけ辛抱よく待ったかということがカウントされることはめったにない」(pp.82-83)とある。

生きにくさが増す現代社会にあって、発想の転換を図りたいときにおススメしたい一冊である。

京都教育大学
それはかなう夢講座

おにぎり2個
&お茶付き!
先着30名

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第8回のお知らせ

【日時】2017年10月4日(水)
12:10~12:40
【場所】附属図書館1階
リフレッシュラウンジ
【講師】今井 健介(理学科准教授)
【テーマ】昆虫の生き様を研究する

《概要》

私たちの身の回りにはじつに多様な生きものがいて、それぞれ驚くほど多様な生き様を見せてくれます。「どうやって生活しているのだろう」とか「なぜそんな生活をしているのだろう」と思いながら観察していると、次から次に発見がでてきて、飽きることがありません。

今回は、「虫こぶ」をつくる昆虫とそのエサになる植物の話をしていきます。食べないと子孫を残せない昆虫と、エサにされると子孫を残せない植物は、どうやって互いを出し抜こうとしているのでしょうか。皆さんを、身近で精緻な生態学の世界に招待します。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

わくわく kyo2 ライブラリー2017
読書キャンペーン



図書館で借りた本の紹介をして、そったくんグッズや図書カードをもらっちゃおう!

実施期間：2017年10月10日(火)～2018年1月15日(月)

借りた本のポップ(A6サイズ、イラストやキャッチコピーなど)や、紹介文(400字～600字程度)を提出してください。提出者には参加賞(そったくんグッズなど)を進呈します。全作品の中から優秀なものには館長賞(図書カード)が授与されます。

【対象者】本学学生(学部学生、大学院生、科目等履修生、研究生等)
詳細は、館内ポスターや附属図書館HPなど各種お知らせをご覧ください。



リクエストと投票で
話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています!

- リクエストは随時受け付けています
- ・学習研究目的のものは原則として購入します。
- ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。
- ※結果によっては購入できないこともあります。

リクエスト方法については、
館内掲示をご覧ください

リクエストや投票にどんどん参加してください!

読みたい本に
投票しよう!
(1日1ポイントまで)

10月の投票期間は
10月16日(月)～30日(月)です。
※図書館1階渡り廊下・北館2階研修セミナー室前に展示しています。



雑誌の製本作業について

8月から11月上旬(予定)まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2015年~2016年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階(書庫)に並べますので、そちらをご利用ください。
※製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。

学修相談カウンター

10月から再開します!理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか?

【場所】北館2階ラーニングcommons

【時間】16:30~19:30の該当時間

どんどん利用してください!



児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催

えほんのもり

10月

学生による絵本のよみきかせ

日時:10月16日(月)
15:00~

絵本:『つかんでぱっくん』など

今月の絵本カード(学生作)

『どんぐりむらのどんぐりえん』

作:なかや みわ

出版社:学研教育出版

※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

⇒



絵本カード(部分)



図書館講習会のお知らせ

4~6月に実施した講習会を10~11月にも開催します。詳しくは、図書館HPやポスターをご覧ください。

企画展示室(北館1階)

ぜひ、ご覧ください!

◆アート・プロジェクト特別企画

障害者支援施設「一麦」展いのちの色とかたち
一色うたう、線・かたち輝く空間へー

【会期】10月2日(月)~10月21日(土)

【主催】京都教育大学
美術科、発達
障害学科

【協力】社会福祉法人
大木会 一麦



◆2017年度MOA美術館伏見区児童作品展

【会期】10月27日(金)~10月28日(土)

子ども達の力作が勢揃いします!

第6回 京都・大学ミュージアム連携

スタンプラリー(本学は参加大学です。)

2017年9月30日(土)~12月9日(土)
京都の大学ミュージアムをまわって「知」と「美」と「素敵な景品」を手にとろう!

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品

ちゅう こしょうぞくにんぎょう ぶんかんぞくたい にとかんれいそう
「中古装束人形(文官束帯・女官礼装)」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしますので、ぜひ教育資料館へ来てくださいね!



詳しくは...教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

今回の執筆者 **黒田 恭史** (数学科 教授)

算数科における「数と計算」から「文字・文字式」への接続に関する研究
—東アジア諸国との比較を通して—

津田 真秀 黒田 恭史

京都教育大学紀要. 2017, No.130, pp. 59-70

日本の算数教科書では、小学校低学年段階から□といった記号を用いて文字・文字式の導入が図られ、高学年段階になると a , x などのアルファベットでの文字・文字式の扱いは始まります。一方、東アジア諸国の算数教科書に着目してみると、ベトナムでは低学年で a , x などのアルファベットが登場し、中国では中学年段階で方程式が扱われています。さらに、近年国際的な学力調査で上位の成績を残しているシンガポールでは、関係記号の扱いや式変形の意味理解を詳しく扱う傾向にあるということが明らかとなっています。

このように、日本と東アジア諸国の算数・数学教育を比較してみると、それぞれの特徴が解明され、日本のカリキュラムを見直す一つのきっかけとなります。本研究では、中学校数学の入り口となる文字・文字式の導入部分に着目し、東アジア諸国との教科書比較を通して、日本における文字・文字式のスムーズな指導を意図した教育内容を検討しています。

また、開発した教育内容の妥当性を検証するために、小学校第1学年を対象とした教育実践を行いました。本来ならば第2学年で学習する不等号を早期導入し、数や式を大小比較することで、等号・不等号の意味理解を目指します。日本の文字・文字式導入の教育内容は、スモールステップで設定されていますが、等号・不等号などの関係記号を扱う内容が少なく、その意味理解に課題があるとされてきています。本研究は、そうした教育課題を解決する糸口となるのではないかと考えています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 130 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00
■学内者のみ(9:00~17:00) ■休館(CLOSED)

2017年10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10/2 後期授業開始

10/14 編入学試験(学外者来館不可)

2017年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11/1 館内整理日

11/10-12 藤陵祭

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.205(2017年10月号)

発行日:平成29年10月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

